

【樹木の部屋】

ランタナ (クマツヅラ科シチヘンゲ属 *Lantana camara*)

和名：ランタナ **別名**：シチヘンゲ (七変化) **英名**：Lantana

シソ目 常緑低木 **原産地**：中央アメリカ

花言葉：合意、協力、厳格、確かな計画

花の色：白、赤、桃、橙、黄、複色



← 写真-1 ランタナ

撮影日：2007年07月01日

撮影場所：M邸

(大和郡山市)にて

撮影者：Mさん

我が家の花壇で、毎年開花しています。

世界の熱帯地域で広く野生化している低木のランタナ・カマラ (*Lantana camara*) と、やや花と

葉が小さいほふく性のコバノランタナ (*L. montevidensis*) が主な原種で、それらをもとにさまざまな園芸品種が作り出されたそうです。

生育形態によって系統を分けると、低木状になるもの、鉢向きのコンパクトなブッシュ状の樹形になるもの、ほふく性のものなどがあります。

多数の小花からなる散形花序をつけ、開花後、時間がたつと次第に花色が変わる(シチヘンゲの別名は、この花色変化に由来します)ため、同一花序でも外側と内側では花色が異なります(内側が新しい)。花色が変化しない品種もあるそうです。

果実は黒い液果で有毒といわれていますが、鳥が食べ種子を散布します(種子を噛み砕く可能性の強い哺乳類には有毒ですが、鳥類には無毒という液果をもつ植物は多いそうです)。茎は、断面が四角で細かいとげが密生し、葉は対生です。

萌芽力の強い植物なので、生育期間中であれば、いつでも剪定することができます。が、9月中旬以降に剪定すると、年内には花が付かないので要注意です。強い剪定を行ってもすぐに芽吹きますが、一度に株全体を剪定してしまうと、花が付くまでにしばらく時間がかかります。枝が長く伸びすぎているよう

であれば、花が終わった枝の脇芽が出ている上の部分で切り戻します。小まめな剪定を行う事で、絶え間なく花を咲かせることができます。